

●第172号(二〇一三年三月)

特集 横浜の子育て支援

1 子育て支援のこれから 大日向雅美

2 横浜市の取組と子ども・子育て関連3法成立 村木厚子

〈コラム〉横浜保育室について 菊池潤、吉田裕光  
〈コラム〉APPC女性と経済フォーラム 市長オープン  
ングスピーチ抜粋

3 横浜市の待機児童対策の経緯と今後の課題 伊東裕子、田中礼子、渡邊崇

〈コラム〉子ども・子育て関連3法に基づく子ども・子育て支援新制度

4 【チームレポート】区による地域分析

八木慶子、高田裕子、廣瀬綾子、稲垣崇之、松本圭市、田中礼子

5 座談会：「チーム横浜」で取り組んでく区兼務係長から見た待機児童対策 葛西光春、鈴木猛史、千葉省一、小林真紀、櫻井正成、山崎信吾、松戸一将、三上章彦

6 待機児童対策の主な取組 白井正和  
民間保育所整備の多様な取組 白井正和  
保育所整備の現場から

〈コラム〉「待機児童対策」×「温暖化対策」 白井正和  
よこはまエコ保育所の取組

② NPO等を活用した家庭的保育事業 佐藤英一、安形和倫

〈コラム〉保育の質の向上を目指して 宮本里香

③ 保育コンシェルジュ事業 白石亜紀子、八木慶子

④ 保育士確保の取組 小林謙一、山岸紗依子、奥田裕子、本間睦、宮本里香、関見子

⑤ 私立幼稚園預かり保育事業 萩原昌子  
地域における子育て支援 萩原昌子  
「親子の居場所」を中心に 春原隆之、小澤美奈子、藤井洋平、安藤士郎、黒岩美佳、雙田絵美、中山容子、韭山貴史

〈コラム〉子育て支援における一時預かりの役割

8 幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続 育ちのバトンをつなぐ  
「横浜版 接続期カリキュラム」 寶來生志子  
横浜で子どもを産み育てること 高梨潤一、山原裕生

9 横浜市の子育て支援に関する取組評価と今後の課題 近藤政代、柴山一彦、大木克之

10 座談会：子どもを中心としたまちづくり 山本真実

11

岡本洋子、原美紀、藤橋智子、吉岡善美  
渡邊英則、田中博章、三上章彦

第二特集 ソーシャル・キャピタルとコミュニティデザイン

1 ソーシャル・キャピタル「信頼の絆」で解く現代経済・社会の諸課題 稲葉陽二

2 コミュニティデザイン 人がつながるしくみをつくる 山崎亮

〈コラム〉「出会いを楽しむ」×「走る」＝ソーシャルマラソン！ 三樹睦月

調査研究レポート 図書館は「地域の情報拠点」！新たな取組「ヨコハマライブラリーカフェ」が果たす役割 荘田祥子、小原亜実子

●第173号(二〇一三年十一月)

特集 政策五十年史

1 はじめに 1963年の横浜、人口、総合計画と財政の変遷 編集部

2 分野別政策史 佐々木誠

① 水道政策史 水源開発を中心にして 堀山誠人、蝦名隆元、古賀淳一

② 港湾政策史 横浜港港湾計画をたどって 橋詰勝彦、桐山大介、森兼孝司

③ 交通政策史 総合計画の交通部門を振り返って 佐藤正治、石津啓介

④ 都市づくり政策史 プロジェクト・コントロール 佐藤正治、石津啓介

⑤ 危機管理政策史 災害対策から危機管理へ 松下信男、宮川淳一、三宅海、日比野洋平

⑥ 消防政策史 救助と救急の歩み 佐久間栄吉、平中隆

⑦ 廃棄物政策史 ごみの収集・運搬、処理・処分 岩瀬武、松村容輔

⑧ 環境政策史 かけがえない環境を未来へ 兵頭輝久、赤坂真司、畠山貴紀

⑨ 経済政策史 政策形成の点から面への飛躍 兼松仁礼夫

⑩ 福祉政策史 すべて市民の幸せな暮らしを支えるため、社会の変化と共に進む 栗屋しらべ、小田友希子、池上省吾、島根正樹

⑪ 教育政策史 「教育のまち・横浜」の実現に向けて 佐藤正淳

⑫ 文化政策史 矛盾が導く多様な展開 鬼木和浩

⑬ 都市デザイン史 都市の個性をつくる 桂有生

⑭ 地域コミュニティ 協働政策史 地域課題の解決に向けて 市川雅啓、石津啓介、藤原啓子、高梨潤一、山原裕生

3 横浜市における政策の基礎的調査・研究 40年を振り返る 中川久美子

4 政策としての自治体史 「横浜市史Ⅱ」と市史資料 大西比呂志

5 おわりに イノベーション史としての横浜政策史 調査季報総目次 編集部

〈創刊50周年記念寄稿〉調査季報の未来へ 斬新で的確なテーマ、魅力に満ちた調査季報 宮本みち子  
分野横断的な社会構想を今後も 広井良典  
自治体発「政策情報誌」の典型をつくってきた50年 大矢野修  
戦史、そして、恋文としての調査季報 沼田真一

〈創刊50周年に寄せて〉調査季報と私 土井一成  
調査季報の50年 最高値のOJTだった調査季報 浜野四郎  
ハマの政策力 野村宜彦  
調査季報はハマの貴重な宝 藤又衛  
調査季報との関わりと情報社会の進化 村上佳江  
これまでも、これからも 加藤慎介  
私にとって調査季報は、仕事半生の論文指導教官、現場、地域目線に寄り添った上での客観視 大塚節裕  
横浜の先駆例が補集を待っている 加藤勝彦  
調査季報は、政策力点検の場 濱橋宏昭  
人と人をつなげるプラットフォーム 賀谷まゆみ  
「政策研究誌」調査季報 唐澤健  
調査季報を残すこと